

Install FAX Service

ES-89Light — 配線する信号は ① 表示です。

平成18年10月17日 作成
平成20年 3月26日 更新

BOX No.137304

車両情報

ホンダ ライフ

平成18年9月～

JB#系

1 / 2 ページ

ES-89Light

Type N.L.

Opt. ドアロックリレーNLⅢ (EP070)

① 注意事項：スマートキー付き車のみ

- スマートキーシステムが、装着されている車種があります。
- この車種には、エンジンスターターは、イモビライザー対応モデル（受信機に4極コネクタが付いているモデル）のみ取り付けできます。
- 取り付けの際は、H-1イモビ対応ユニット（FOH01）を使用します。
- 詳細は、イモビ対応ユニットの取付説明書を参照してください。

① 使用上の注意事項

スマートキー付き車に、エンジンスターターを取り付けする場合は、使用上の注意事項があります。
2 / 2 ページを必ず参照してください。

① ドアロック／アンロック、及び純正セキュリティアラームの対応は、2 / 2 ページを参照してください。

A/T車設定が必要な行 | のみ

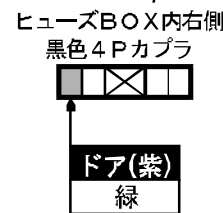
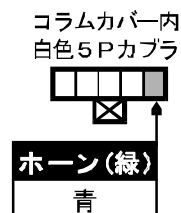
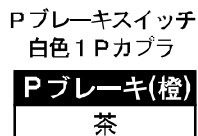
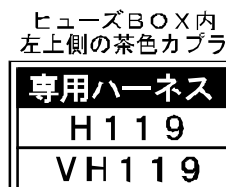
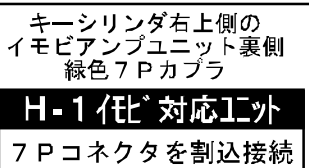
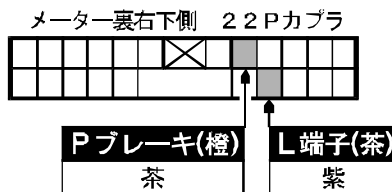
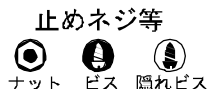
(A/T車設定作業について)
配線・受信機取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のキースイッチをONにする。
- ② リモコンでSTOPを押す。
- ③ 車両のA/TシフトレバーをRレンジに動かし、受信機のアラーム音が変わった後（約3秒後）Pレンジに戻す。
- ④ 車両のキースイッチをOFFにしてキーを抜く。
- ⑤ 設定完了。

※設定作業をしないと、エンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容(受信機CN2緑色)

車両配線色



① 機能付き機種のみ配線

① 旧Lightは、ドアロックリレーNo.001/NLR (EP028)が必要です。
取り付けは、BOX No.200001を参照。

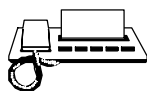
① H119ハーネスのカブラを、ヒューズBOXに取り付ける際、右側の若葉色4Pカブラの配線を引っ張りすぎないように注意してください。
(引っ張りすぎて、配線にストレスがかかると、断線等の恐れがあります)

① 運転席側カバー類の外し方

- ① ヒューズBOXのカバーを外す。(裏側に手を入れて、上のフックを押しながらかず)
- ② コラムカバーを外す。(ネジ1本、ブラロック1本)
※スマートキー付き車は、カバーを外す前に、キー回転ノブを先に外すこと。
キー回転ノブは、ノブ下側の穴からマイナスイモビライザーにてツメを押して内部のカバーを外してから、内側にあるネジ2本を外すと、ノブが抜けやすくなります。

※以下は、メーター裏に配線を行う場合のみ外す。

- ③ メーターASSYを外す。(メーターの下側にネジ2本)
配線作業時に、メーター裏側のカブラからコネクタを外さないでください。…外してしまうと、メーター内ディスプレイの情報が消去される場合があります。



Install FAX Service

ES-89Light — 配線する信号は ① 表示です。

平成18年10月17日 作成
平成20年 3月26日 更新

BOX No.137304

車両情報

ホンダ ライフ

平成18年9月～

JB#系

2 / 2 ページ

ES-89Light

Type N.L.

Opt. ドアロックリレーNLⅢ (EP070)

① 使用上の注意事項：スマートキー付き車

※エンジンスターターで始動してアイドリングをした場合は、以下の注意事項を守ってご利用ください。

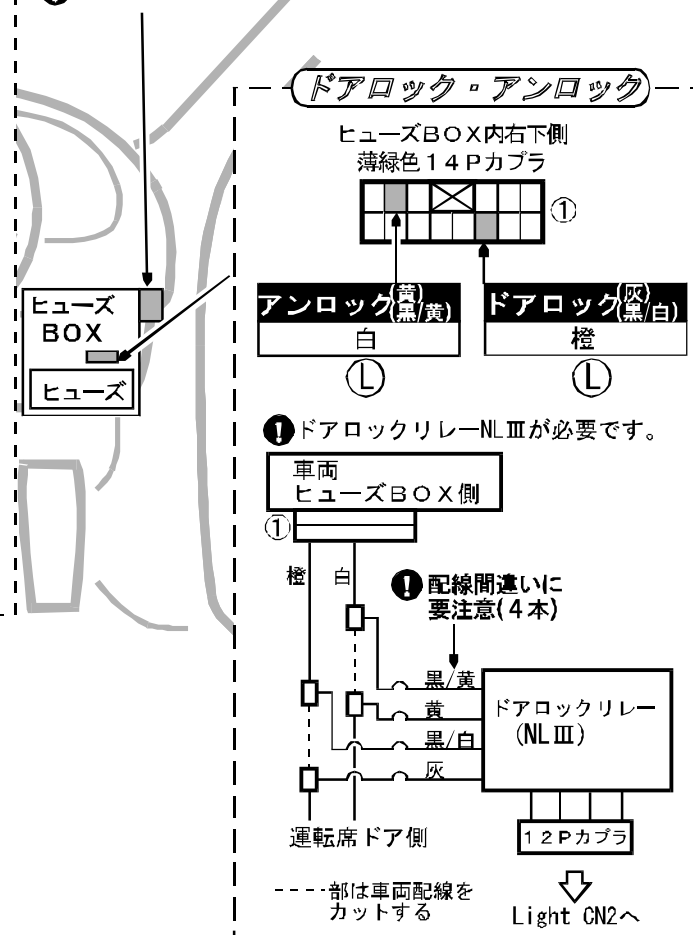
- ① 車両のスマートキーは使用できません。スマートカードによるエンジン始動、及びドアロック/アンロックは使用できません。…以下は、その理由
 - ・エンジンスターターでアイドリング中と、STOP操作等でエンジンを止めた後は、キーのノブがロックされて回らなくなるため。…車両の構造なので、異常ではありません。1回エンジンキーにてノブを回せば、その後はノブのみで回るようになります。
 - ・アイドリング中（車両のIG電源がON状態）は、スマートキーによるドアロック/アンロックは作動しないため。（車両の構造）
- ② 必ずエンジンを止めてから乗車してください。…エンジンスターターのSTOP操作でエンジンを止める、又はドアタイマー機能を「使用しない」に設定して、ドアを開けたときにエンジンを止める。…以下は、その理由
 - ・エンジンを止めずに乗車して、エンジンキーでノブをONすると、走行中に車両のセキュリティーインジケータ（キーの形をした緑色のLED）が常に点滅したままになるため。
- ③ 乗車後は、必ずエンジンキーで始動してください。（キーを差し込んで、回してエンジンをかける）…理由は、上記①と同じ。

① 注意事項（セキュリティアラーム付き車） セキュリティアラームの設定変更について

- ・セキュリティアラーム（盗難警報装置）が、装着されているグレードがあります。…車両出荷時（新車状態）は、セキュリティアラームが「作動」するようになっています。
- ・エンジンスターターを取り付けする場合は、以下の方法にて、必ずセキュリティアラームを「非作動」にしてください。…ヒューズBOX右上にある、黒い小さなBOX内のソケットに、10Aのミニヒューズを取り付けする。
- ・セキュリティアラームを「非作動」に設定すると、車両のキーレスエントリー等でロック操作を行っても、メーター内セキュリティアラーム作動表示灯（赤色のランプ）は消灯したままになります。…車両のセキュリティアラームは作動しなくなります。
- ・なお、セキュリティアラームを「非作動」に設定せずに車両のセキュリティアラームがセットされた状態（セキュリティアラーム作動表示灯が点滅している）で、エンジンスターターで始動すると、車両のセキュリティアラームが作動して警報のホーンが鳴り続けます。…警報を止めるには、車両のキーレスエントリー等でアンロック操作をしてください。

① 旧Lightは、ドアロックリレーNo.001/NLR (EP028)が必要です。取り付けは、BOX No.200001を参照。

① 黒い小さなBOX



① 特有の注意事項（使用できない機能等について）

- ① オートロック機能は、使用できません。

配線内容(受信機CN2緑色)

車両配線色

車種別専用ハーネスについての注意事項

共通追補版

平成19年 9月 1日

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

■ES-89ProLight II (ESL24) を取り付けする場合

①初年度登録が2006年(平成18年)7月以降の車両は、必ずヒューズ(25A)付きの専用ハーネス(VAS対応品)で取り付けをしてください。



❗ 車種別取付資料では、ヒューズ付き専用ハーネス(VAS対応品)を、左記のように記載しています。

VAS対応品の専用ハーネスは、頭文字がVで始まり、(V)の表示をしてあります。

左記の場合、VH116がVAS対応品です。

②初年度登録が2006年(平成18年)6月以前の車両に取り付けする場合、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

■ES-89ProLight II (ESL24) 以外のエンジンスターターを取り付けする場合

※初年度登録年月に関係なく、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

但し、旧型モデル(オートマチック車の認識設定を行わずに取り付けするモデル)については、旧型専用のハーネスを使用する場合がありますので、販売店にお問い合わせください。

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

ES-89ProLight IIは、盗難発生警報装置付きのエンジンスターターです。

このモデルは、平成18年7月より施行された道路運送車両法、盗難発生警報装置技術基準(新保安基準)に適合しており、全国自動車用品工業会(JAAMA)の盗難発生警報装置自主基準(VAS)を取得した製品です。

平成18年7月より運用を開始した新保安基準を遵守するため、取り付け等にあたっては注意が必要です。(以下を確認してください)

①初年度登録が2006年(平成18年)7月以降の車両は、新保安基準に該当します。

❗ 該当車両への取り付けは、ヒューズ付き専用ハーネス(VAS対応品)の使用が必須となります。

②盗難発生警報装置(機能)を使用する場合、全てのドア(バックドア等も含む)開検知が必要です。

❗ 該当車両は、全ドアの開検知ができるように、車種別取付資料を参照して取り付けをしてください。車両により、ドア検出ユニット(別売)が必要になります。

③登録証(全国自動車用品工業会自主基準登録証)は、必ずお客様にお渡しく下さい。

❗ 製品に付属の登録証は、取り付けされた車両の車検実施時に、製品が盗難発生警報装置技術基準に適合したものであることを証明するためのものです。必要事項をご記入の上、必ずお客様にお渡しく下さい。

なお、登録証があっても不適切な取り付け状態が確認された場合、車検時に不合格となることがあります。